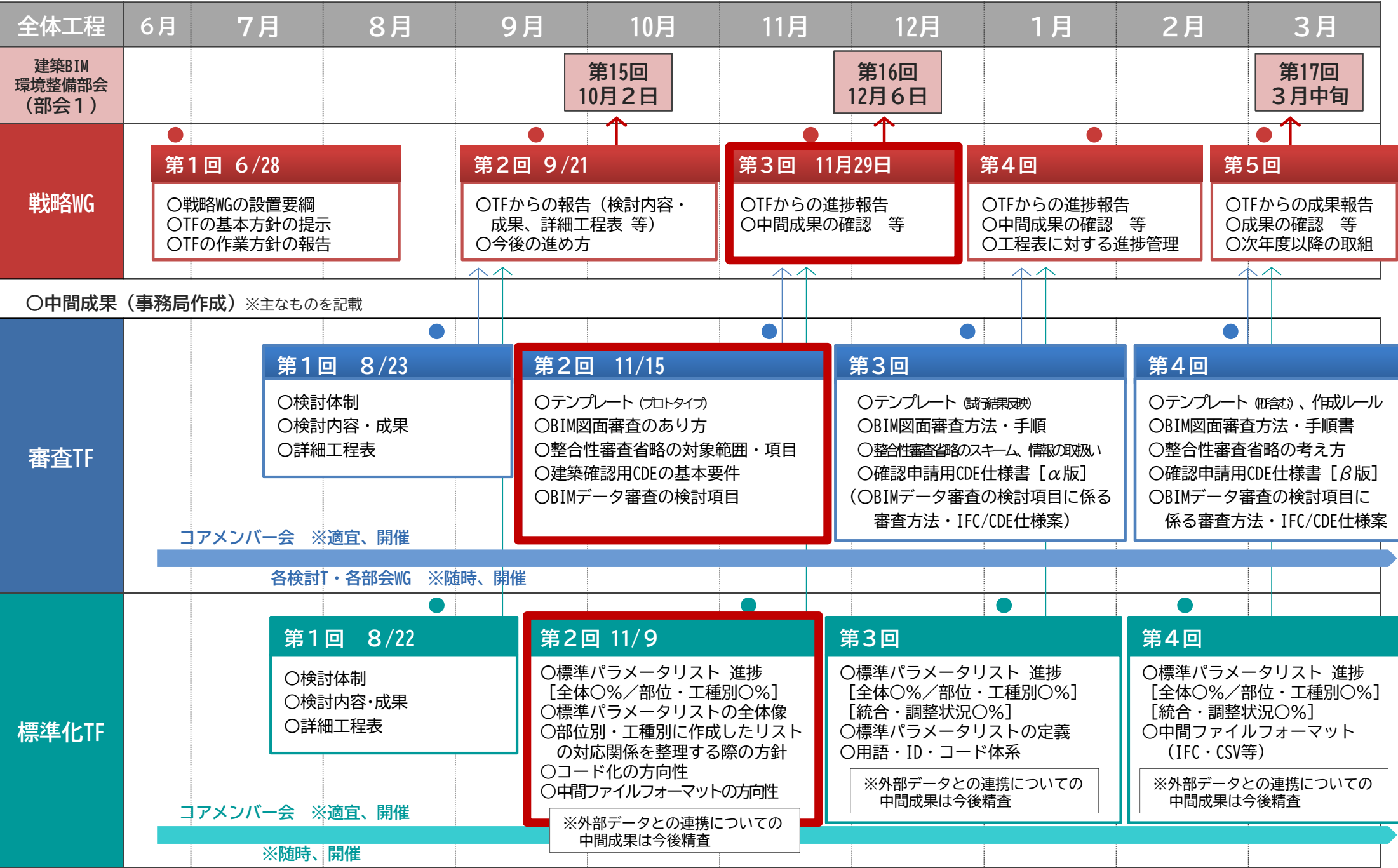


各TFの取組に関する進捗確認



※ 中間成果案等は必要に応じ継続的に精査

中間成果	進捗状況
①テンプレート（プロトタイプ）	・テンプレートは、BIMモデル作成→テンプレート（プロトタイプ）の順に作成するが、意匠・設備は、BIMモデル作成を終え、テンプレート（プロトタイプ）の作成途中である。構造は、テンプレート（プロトタイプ）の作成が行われている。 ・「テンプレートから出力する図書の種類」と「テンプレートの対象範囲」が設定されている。 ・「BIM確認申請図書図面の表現」、「特記仕様の情報の反映・実装方法」は検討途中であり、「数量などBIMで確認する場合のデータ作成方法」、「標準テンプレート（プロトタイプ）を用いた確認（試審査）」には未着手である。
②BIM図面審査のあり方	・論点の提示にとどまっており、検討途中である。
③整合性審査省略の対象範囲・項目	・「整合性確認省略の対象範囲・項目の仮設定」が行われている。 ※当該仮設定は、主に不整合が多い項目の観点から設定されたものであり、技術的な検証を踏まえたものではない。 ・「申請図書を用いたケーススタディ等」により不整合の解消可能事項や整合性審査省略のリスク事項の洗い出しが行われているか不明確である。
④建築確認用CDEの基本要件	・「確認申請用CDE基本要件」がα版として整理されている。 ※「BIM図面審査のあり方」や「確認申請オンラインシステムとの機能分担調整」が検討途中であり、一定の仮定のもので要件が整理されたものであるほか、内容の合意に至っていない。
⑤BIMデータ審査の検討項目	・BIMデータ審査の検討項目が示されている。



- 工程表及びそこで示された検討事項の具体的な進捗状況について十分に点検するとともに、工程表で示す今後の作業にどのような影響を及ぼすかについてもあわせて整理し、その結果を事務局に報告すること。
- 全体の作業方針に関わる「運用方法の議論」について、検討の工程表を示すこと。

中間成果	進捗状況
①標準パラメータリスト 進捗	・進捗は、リストの収集（20%）→名称の整理（40%）→整合確認（60%）→パラメータ入力者の決定（80%）→標準パラメータリスト（MET・MAT）（100%）とされており、全体では31.7%であり、その内訳は、意匠：18.1%、構造：15.0%、設備：70.0%、施工・メーカー：23.6%である。 ・設備を除き、標準的な属性情報を決めるためのリストの収集を進めている段階にあり、今後の見通しが不透明である。
②標準パラメータリストの全体像	・標準パラメータリストの全体像のイメージ図が示されているが、当該リストの対象とする部位・工種の詳細、リストに定める事項の詳細、用語の整理方針の詳細は示されておらず、検討途上である。
③部位別・工種別に作成したリストの対応関係を整理するための方針	・部位別・工種別に作成した標準パラメータリストの対応関係を整理するための、大まかなステップが示されているが、各ステップの詳細は示されておらず、検討途上である。
④コード化の方向性（ID付番の方向性）	・標準パラメータリストに付番するIDは、公共建築標準仕様書の章立てに対応したコードに、属性情報の項目を識別する3桁の数字を追加したもので検証する方針が示されている。
⑤中間ファイルフォーマットの方向性	・中間ファイルフォーマットの方向性として、CSV形式とする方向性が示されている。



- 工程表及びそこで示された検討事項の具体的な進捗状況（「外部データとの連携」を含む。）について十分に点検するとともに、工程表で示す今後の作業にどのような影響を及ぼすかについてもあわせて整理し、その結果を事務局に報告すること。
- 「運用方法の議論」について、検討の工程表を示すこと。